

教科名	技術家庭（家庭）	週授業時間	1 時間
-----	----------	-------	------

1. 教科書

技術・家庭（開隆堂）

2. 授業の目標および内容

中学生になるまでの自分を振り返り、自分が成長してくるまでにはさまざまな人との関りや生活があることに気づき、小学校の家庭科の学習を踏まえて、中学校では自立を目指してどのような学習をするか確認します。

生活に必要な基本的な知識と技術の習得を通して、家庭生活や社会生活との関わりについて理解を深め、習得した知識と技術を積極的に活用し、生活を工夫したり、創造したりする能力と、実践しようとする意欲的な態度を身につけられるように授業を進めていきます。

1・2学期は、衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができるようにします。

3学期は住生活の分野で、「室内環境の整備と住まい方」について学びます。

3. テスト

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次なし	二次あり	一次なし	二次あり	期末あり
学力試験	第1回 なし		第2回 なし		第3回 なし

内容・評価等について

1 学期

- ①二次テスト：5割
- ②基礎縫い：4割
- ③平常点（授業に取り組む態度、忘れ物）：1割

2 学期

- ①二次テスト：5割
- ②作品提出（巾着袋）：4割
- ③平常点（授業に取り組む態度、忘れ物）：1割

3 学期

- ①期末テスト：5割
- ②作品提出（マスコット）：4割
- ③平常点（授業に取り組む態度、忘れ物）：1割

* 各学期とも、作品での評価が主になります。提出期限に遅れたり、提出がない場合は、非常に悪い評価になりますので注意してください。ただし、授業中に実習を行わずに提出しても、誰が作った作品かわからないので評価できません。

4. 長期休業中の課題

なし

5. 副教材・参考書等

基礎縫いプレレッスンキットタマイチナミメ（クロッサム）
 衣生活・住生活と自立；家庭科ワークノート（地域教材社）
 巾着袋（クロッサム）
 マスコット（アイセック）

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>ガイダンス</p> <p>自分らしく清潔に着る</p> <p>手縫い製作実習</p>	<p>小学校の学習を踏まえ、中学3年間の学習に見通しを持つ 各自の衣生活に関する課題を見つけ、問題解決に意識を向ける</p> <p>日常着の手入れ ・既製の表示を読み取り、自分で選べるようにする ・普段着ている制服は、どんな手入れが必要か知る。 ・布の性質を理解し、手入れに生かせるようにする</p> <p>手縫い練習 ・玉結び、玉止め ・ボタン付け ・ブランケットステッチで回りを縫い合わせる</p>	<p>ワークノート</p> <p>基礎縫いキット (タマイチナミメ)</p>
2	<p>繊維の種類と手入れ</p> <p>衣服の洗たく</p> <p>巾着袋製作</p>	<p>繊維の種類や布の成り立ちを知り、どのようなかを知る。自分の衣服の素材を調べ、着心地や、手入れ方法を理解する</p> <p>・洗たくのしかたを理解し、洗濯機を使って洗たくできるようにする ・衣服の取り扱い絵表示を読み取る</p> <p>ボタン付け、本返し縫いを行う</p>	<p>ワークノート</p> <p>ワークノート</p> <p>巾着袋</p>
3	<p>気持ちよく住む</p> <p>マスコット実習</p>	<p>家族が住まう空間としての住居の機能を知る 安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができるようにする</p> <p>かがり縫い、ビーズのつけ方を学ぶ</p>	<p>ワークノート</p> <p>マスコット</p>

